

学習段階	課題の設定 【思考力・判断力】	仮説立案 【思考力・判断力】	検証・情報の収集 【知識・技能・主体性】	整理・分析（考察） 【思考力・判断力】	まとめ・表現 【技能・表現力】
活用Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ■検証結果を受けて、新たな問いを立てる（課題の見直しをする）ことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■検証結果を受けて、適切に仮説の見直しをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■仮説を満足させる実験・検証・情報の収集を効果的に行うことができる。 ■入手した/する情報が問いの解決に有用かどうか判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■複数の情報を有機的に結び付けた独自の考察を展開している。 ■自論の妥当性を客観的に判断できる（論の不備に気づいたり、今後の研究課題を設定したりする）。 ■課題・仮説・検証に一貫性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■効果的に図表等を用いて、聞き手・読み手に配慮した「説明」ができる。 ■質疑応答に適切に対応できる。 ■発表形式の変化に対応できる。
活用Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ■発表対象と研究目的が明確で、具体的な（5W2Hの質問に耐えられる）課題を設定できる。 ■様々な先行事例を参照することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■次の4点を踏まえて、具体的な仮説を設定することができる。 ①問いに適合するか ②意見を展開できそうか ③根拠を集められそうか ④実現・実施可能か 	<ul style="list-style-type: none"> ■仮説に関連のある実験・検証方法と計画を考えることができる。 ■多様な情報源に自主的にアクセスできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ある程度客観的な考察を展開できる。 □論理性が弱い（データの不足や分析の甘さやによる） □課題・仮説・考察の関連性に無理がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■十分な情報量と構成を持って表現できる。 ■発表の際は原稿の音読ではなく、「説明」ができる。
習得	<ul style="list-style-type: none"> ■課題の概念を理解している。 □少し調べれば解決できるような問い、または漠然とした問いしか設定できない。 □事実や背景の確認にとどまり（新聞・ニュースを見る等）、それ以上の問題意識・洞察がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■仮説の概念を理解している。 □漠然とした仮説（仮の答え）しか設定できない。 □立てられた仮説は単なる思いつきによるものである。 	<ul style="list-style-type: none"> ■初歩的な「調査や実験」ならばその方法を理解し、実施できる。 □計画性がない □場当たりの情報収集を繰り返す。 ■調べるべき情報とその意味が理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■自分なりの考察はできる。 □独りよがりな考察である。 □課題・仮説・検証に関連性がない。 □漠然とした理想論にとどまる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ある程度であれば表現ができる。 □内容が不十分である。 □情報がまとまっていない（単なる情報の羅列にとどまる・ポイントが不明瞭である） □発表の際は、原稿の「音読」が主である。
未習得	<ul style="list-style-type: none"> ■課題の概念が理解できない。 □課題（探究学習）に興味づけができない。 □「テーマ」から「課題」に移行できない。 □実行・実現の可能性を考慮に入れない課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■仮説の理解がない。 □仮説を立てることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■検証ではなく、「調べ」になっている。 □課題・仮説に関係のないことを調べている。 □情報源がかなり限られている。 □費用（時間）対効果が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■考察ができない。 □引用や受け売りに終始する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■探究学習の成果としての表現ができないか、できたとしても未熟である。 □独自の考察や検証結果が盛り込まれていない（第三者が行った調査をそのまま、あるいは少しの加工を加えて表現するにとどまる）。 □情報の出所が不明である。

■は必要条件 □は補足説明

参考：啓明学園、広島国泰寺高校、広島大学付属中・高等学校、福井大学、全米カレッジ・大学協会VALUE のルーブリック

例	課題の設定 【思考力・判断力】	仮説立案 【思考力・判断力】	検証・情報の収集 【知識・技能・主体性】	整理・分析（考察） 【思考力・判断力】	まとめ・表現 【技能・表現力】
活用Ⅱ					
活用Ⅰ					
習得	①	①			
未習得					

探究学習は青高力の「知力・学力」、「課題発見力」、「論理的思考力」、「課題解決力」、「原因分析力」、「受信発信力」、「協働力」、「行動力」、「自己実現力」に対応